

御殿場

2012  
No.197号

春

# 十字の園

(題字 鈴木生二)

発行／総合福祉施設  
御殿場十字の園  
施設長 宮島克利  
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1  
TEL 0550-83-1999  
FAX 0550-82-5189  
<http://www.jyuji.ne.jp>  
e-mail:info@gjuji.or.jp  
印刷／岳麓印刷株式会社

〔聖句〕喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2012年4月12日『お花見。福島邸・江戸桜を愛でながら』

イルド

理事長 平井 章

戦争中、空襲で防空壕に逃げ込んだ母親がお地蔵さんを抱いたまま亡くなった。「お地蔵さんは母を助けてくれなかった」、信仰厚い母を思い出しながら、救い、信仰に思いを巡らしました。ある日、通勤する道沿いの教会が目に入りました。日曜礼拝に出席し、十字架の救い、偶像礼拝のことなど神さまの話に心を動かされ、受洗することになりました。

自分の生きる意味と生きる道を探して聖隷の長谷川保を訪ねました。資格を取って看護師として働く中で、家を捨て、血縁と別れて生涯をキリストのために仕えるデリアコニッセ（奉仕女）に志願し、一九五五年に教会で立志式が行われました。十字の園老人ホーム創設より理事・職員として尽くされ、昨年の大晦日に浜松十字の園にて召天されました。

その人こそ浜松デリアコニッセ母の家の市川一二三姉妹です。デリアコニッセとして、イエス様のように神と人に仕えた人でした。

## 「ニーズ優先の視点」

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

この四月から改正介護保険法の施行、介護報酬が改定されました。その改定で、既存のサービス中で最も影響が大きかったのが、通所介護といえます。

サービス提供を行い、平均サービス提供時間は六時間二七分であったとのこと。当事業所でもサービス提供時間は六時間二五分でありました。

通所介護では、サービスの提供時間によって、報酬が決められているのですが、その報酬が大幅に引き下げられる一方、時間区分も変わりました。今まで、三～四時間、四～六時間、六～八時間の区分であったのが、三～五時間、五～七時間、七～九時間へと変わりました。厚生労働省の資料によると、六～八時間の時間区分でサービスを提供している事業所（回数）は、全体の八五％とのこと。その時間区分が、五～七時間と七～九時間に分かれるので多くの事業所や利用者の方に影響してきます。六～八時間の区分では、全国で七割近くの事業所が六時間台で

今までの時間で五～七時間の時間区分になると大幅な報酬減になります。しかし、七時間以上のサービスを本当に利用される方は望むだろうかといった疑問もあります。厚生労働省の資料では、「早朝や夜間のデイサービスに対するニーズの有無」として、現に仕事をしていて家族の介護を行っている人では三三％、介護を原因として離職した人では四三％が、長時間化に対するニーズがあるとのこと。確かに、当事業所でも個別に延長サービスを実施するなど長時間の利用のニーズに対応してきたこともあり、長時間化のニーズはありますが、逆に言えば、殆どの方は、長時間化

## 「災害派遣報告」

三階うぐいす 土屋喜史



[活動期間 2012.01.13～01.22]

来ました。映像でみていた被災地の状況ですが、想像をはるかに超える被害でした。復興への道を歩んではいるものの瓦礫の山や津波で流されて何もない町を見ると途方もなく遠い道のりに感じてしまいました。

活動を通して、利用者さん・職員のみなさんから元気を貰ったり、家族の大切さや人のつながりについて考える事ができました。震災に実際あつていない私では本当の意味で震災にあつた方の気持ちを分けることは出来ないと思います。ですが、人に寄り添い、知ろうとする気持ちは大切なのではないかと思

ました。介護にも同じような事がいえると思います。利用者さんの気持ちを本当にわ

みなさん「こんにちは」かなりあ・うぐいすで介護士をさせて頂いている土屋です。

今回は支援活動に参加させて頂いたさあがとうございまして。御殿場に戻って来てもう一ヶ月がたちました。十日間という短い時間ではありましたが、実際に自分の目で見る事が出



かっているのか？無理なことなのかもしれないが、その気持ちを持つことが大切なのだと思ふかされました。変な話で、何しに行っただよ！と言われそうですが、支援活動で自分ができたことよりも、行ったことによって得た事のほうが多いです。

今自分が出来る事は、被災地で感じた事や思った事を伝えていくことかなと思っています。

まだ復興への道は続きませんが、心の復興、被災された方へのケアなど、問題は山のようにあります。また機会があつたら、支援活動に参加したいです。



を必要としないということではないでしょうか。

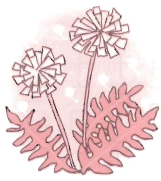
そこで、今までの提供時間を基本としながら、長時間サービスへのニーズにも応えられるよう体制を築くため、利用者の方やご家族に対し、アンケートを実施致しました。結果は、御殿場十字の園通所介護センター（通常規模型）では、二割の方が長い時間のサービスを希望、八割が今までの時間のサービスを希望。ふじざくら通所介護センター（認知症対応型）では、三割の方が長い時間のサービスを希望、七割が今までの時間のサービスを希望とありました。その結果を踏まえ、今まで一律であった、帰りの時間を二つに分け、送迎やサービス提供をするようにしました。

この度は、「社会保障・税一体改革成案」の実施に向けた最初の第一歩であり、団塊の世代といわれる人たちが七五歳になる二〇二五年を念頭において改正されたものであります。改正の基本的な視点は「高齢者の尊厳保持と自立支援」と

いう介護保険の基本理念を層推進するためとのことですが、財政主導の感が否めないと思います。

多くの事業所では、報酬減になつてしまふという理由から、長時間サービスで行うと聞きます。しかし、福祉は、財政論や法制度が先に立つて行われるべきではなく、あくまでも利用者主体で利用者ニーズが優先されるべきだと思います。前任者の上野施設長が、県社会福祉士会の会報に「社会福祉は資本主義の綻びを繕うものではなく『文化の創造』でありたい。」と記されておりましたが、まさにその通りだと思います。

私たちは、その人らしさを大切に、一人ひとりのニーズをしっかりと把握していく。そして、ニーズ優先の視点に立ち続け、自立支援に向け、より一層充実した支援をしていきたいと思えます。



## 地域活動支援センター

### 「くろつちよ」

## 活動報告

主任 武藤茂生



し、平成二十三年十一月十九日（土）開所以来初となる記念すべき第一回交流会開催の運びとなりました。

お昼ご飯は女性職員が朝早くから皆さんに喜んでもらうと一所懸命作った料理でもてな

し。（オードブルは買ったものでしたけど）当日は生憎の暴風雨ではありましたが、たくさんのご利用者様、ご家族の皆様、園長にご出席いただき、普段なかなか会えない方同士の交流や昔話、職員とご家族、園長との交流と有意義な時間が過ごすことができました。くろつちよが多くの方々に支えられ今日に至っていること

平成十二年四月に身体障害者デイサービスセンターとして開所し、早いもので十一一年が経ちました。ご利用される方が数人だった開所当時から比べると、現在は沢山の笑顔で溢れるようになりまして。そんな中「利用していても知らない人もいるんだよね。」という声が聞かれ「じゃあ、交流会でもやってみようよ」と職員からの一言で企画を開始



香の園  
新市の  
十字の  
園

香の園  
新市の  
十字の  
園



## 召天者記念礼拝 を終えて

三階相談員 猪越 貴史

二〇二二（平成二十四）年二月十六日（木）に二〇二一（平成二十三）年度（期間：二〇二一年五月二十二日～二〇二二年二月二日）に召天された十名の利用者様を偲び、召天者記念礼拝が執り行われました。当日は雪がちらほらと降る中、四家族六名のご遺族に参列して頂きました。会場には、故人の満面な笑顔の写真や御家族との写真、一緒に生活させて頂いた職員からのコメントを添えたパネルを並べさせて頂きました。パネルを見た職員は、故人の元気であった頃の思い出話をしていました。

礼拝では、御遺族、職員、たくさんの方々が一杯になり、また御殿場教会の中島牧師による説教や賛美歌を賛美し、故人を偲ぶ会となりました。

礼拝終了後、御遺族と職員で懇談する場を設けて頂きました。故人の若い頃の話や施設での生活ぶりについて話をしました。話の中で、故人同士が同郷であった事が分かり、御遺族同士で時間の許す限り話されていました。また、参加できなかった御遺族からも「十字の園に入所して、故人は元気になった。良いケアをしてくれ



ている。これからも期待しています。」とお言葉を頂き、胸が一杯になりました。私達は、「良いケア」とは…？と常に自問自答しています。これからも利用者の皆さん自身が施設の中で生きがいや楽しみを見出して、安心した生活が送れるように援助できればと思います。



毎月アドナイ館では、気楽会という食事外出を行っています。希望者の方を募り主に市内のレストランなどで食事を職員と一緒に食べます。普段アドナイ館で提供されている食事とはまた違いおいしい食事をいただきながら、自然と会話が弾みます。職員は和食、洋食問わずおいしいと評判のお店はチェックしています。今後はさらに足を延ばして遠くまで食べに行ったり、季節を感じる事ができる料理を食べに行ったりしたいと思います。

ケアハウス

御殿場アドナイ館

高橋 雅昭

気楽会



〈ボランテニア紹介〉

ふれあい動物ボランテニアさん

ボランテニア担当 神戸由紀子

今年最初のどうぶつとのふれあいイベントは三月一日。前日の大雪で周囲は真っ白。「家から出るのが大変でした。」と口々に言いながら皆さん駆けつけてくださいました。

今回は大型犬五匹、小型犬二匹、ボランテニア(飼い主)さん六名、主催の方四名の総勢七匹と十人です。前日からの寒波と雪で底冷え状態。足元から寒さが伝わって来ます。人は靴を履いていますが犬は素足。彼らのためピロティにバスタオルを敷き詰めようと思ったのですが、そんな心配を他所に、車を降りた途端雪の上で嬉しくて走り回ってしまう子や、雪の上で転がってしまう子や、文字通り「犬は喜び…」状態で安堵しました。

前回の開催は約十ヶ月前の事。犬に触れ合った感覚を忘れてはお年寄りが多く、



登場してくる犬の大きさに圧倒され驚いていましたが、人懐っこくしっぽを振りながら体を擦り寄せてくる大きい子に触れ、小さい子を抱かせてもらって、皆に笑みがこぼれて来ていました。

五十人近くのお年寄りに元気を分け与えてくれて『わんちゃんボランテニア』さんどうもありがとうございます。

『ふれあい動物』では、わんちゃんボランテニアさん募集中だそうです。学校や施設の訪問に参加してみませんか。

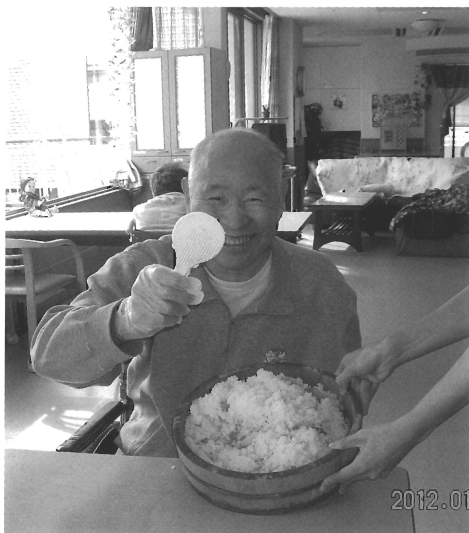
新年会

すみれ 松井ゆかり

一月二十四日にすみれ・すずらんグループで新年会として、ちらし寿司とすまし汁、デザート作りをしました。各グループに分かれて蒲焼き、玉子を焼いたり、ネギを細かく切ったりと皆さん上手にフライパンや包丁を使って調理されていました。すまし汁は何度も味見をされ、とても美味しいおつゆが出来ました。

ちらし寿司には、最後にたつぷりの桜でんぶをかけて彩りの鮮やかなお寿司が出来ました。どちらもとても美味しく、おかわりをされる方がいらっしやいました。

今年も一年、皆さん元気で楽しい年になりそうです。



ユニットイベント

かなりあ 小見山千明

一月十六日、新年会で鍋パーティーをしました。当日は、利用者さんもエプロン姿で大張り切り。中には、My 割烹着を着てくる方も。人参を兔や花の形に刎り抜いてくれる方。野菜の大きさは揃えないとね!と慎重に白菜を切ってくださいる方。おにぎりの形は俵か三角かと言いながら昔話に花が咲いている方。みんなでわいわい言いながら作ったお鍋はいつものご飯以上に美味しくて。気付けば、汁まで飲み干し、ぺろりと完食してしまいました。





献金下さった方々

敬称は略させていただきます

12月分

日本善行会御殿場支部、御殿場民謡グループ、鈴木艶子、米原一郎、矢澤信明、(有)ヘルス、栗駒啓、丸木進、日本キリスト教団沼津教会、中島善子、上野忠昭、伊勢田きぬ、杉山薬局、平川廣・博子、佐藤正明、藤池久子、日本キリスト教団仙川教会、久保昌子

1月分

鈴木起ぬゑ、武藤きくゑ、富士調理技術専門学校、玉川学院、日本基督教団藤枝教会、日本キリスト教団三島教会、日本キリスト教団御殿場教会、ロッキーマイワタ、日本基督教団香貫教会、日本

キリスト教団富士教会、不二聖心女学院温情の会委員会、学校法人女子学院、捜真女学校同窓会、PTA、山崎れい子

2月分

家田正子、沼津教会、渡辺利明、真中治俊、安藤文知子、日本基督教団岩槻教会、日本キリスト教団渋谷教会、捜真女学校中学部・高等学校、東洋英和女学院中高等学校、宗教委

協力ボランティア

12月分

敬称は略させていただきます  
厚生年金婦人部、みくりや友の会、中里京子、芹澤菊枝、仲南美子、高橋文夫、渡辺弘子、隆生会、木洩れ日朗

御殿場十字の園へのご寄付

12月分	19件	229,752円
1月分	14件	136,000円
2月分	9件	278,500円

4~2月分  
累計96件 1,372,404円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座  
口座番号 00870-9-190162  
口座名称  
社会福祉法人十字の園  
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

読の会、関根保子、アドナイ館、(株)コスモール、斉藤淑子、市野はつ、若葉会、神保久美子、不二聖心温情の会高校生、AKI美容室、鈴の会、赤十字奉仕団、御殿場教会、春風路、菅原幸和、市婦連福祉グループ、高根婦人会OB会、シャイム池谷、重野三枝子

1月分

みくりや友の会、厚生年金婦人部、中里京子、只野あつ子、斉藤淑子、市野はつ、高橋文夫、木洩れ日朗読の会、山本浩子、アドナイ館、AKI美容室、赤十字奉仕団、太極拳カツマ、御殿場教会、加藤正代、琴音会、菅原幸和、貞宝会、渡辺弘子、なでしこ会、市婦連福祉グループ、隆生会、鈴の会、井上すずみ、重野美枝子、杉崎富子、池谷知子

2月分

市野はつ、高橋文夫、アドナイ館、厚生年金婦人部、みくりや友の会、市野はつ、ふじかわ健、斉藤淑子、岩田美民、印野はざまの会、木洩れ日

車両購入

今年度、御殿場テイスーパーセンターのキャラバンと、二枚橋テイスーパーセンターのセレナの二台の公用車を入れ替えました。前者は一九九九年から十一年間、後者は一九九七年五月に導入して十四年働いてくれました。どちらも老朽化は否めず、故障が頻発し修理の回数が増え、送迎等に支障を来すことが少なからず生じて来ました。施設を利用して下さる方々の安全・安心を第一に考慮し、この二台の車両を入れ替えることに致しました。

新キャラバン



新セレナ

あとがき

かつて化粧品メーカーが特化したのは秋の目元、春の口元。一九八〇年春、メディアは口元を彩る一文字『唇』を人々に知らしめました。翌年国語審議会は「分かりやすく通じやすい文章を書き表すための漢字」常用漢字を定め『唇』を収録。これに最も貢献したのは渡辺真知子の歌声と共に流れたカネボウ春のCM「唇よ、熱く君を語れ」と言われます。春の暖かさに笑みがこぼれる。だから『唇』は春の漢字。春の暖かさと共に最新号をお手元に。  
(やまもと)